こおり広報

7
Jul.2025
vol.667

KOORI TOWN
Anniversary

仲間とつなぐ勝利のバトン

［小学校運動会］

高品質な桃生産の励みに 町産桃「あかつき」32年連続で献上桃に

今年も、町産桃「あかつき」が、皇室献上品として県から指定を受けました。皇室への献上は、平成6年から始まり、今年で32回目。献上桃決定通知交付式が6月10日、役場で行われ、髙橋宣博町長立ち会いのもと、県北農林事務所の宍戸潤一所長からJAふくしま未来の半澤正志伊達地区理事・営農経済委員へ決定通知が交付されました。半澤理事は「皇室宮家に高品質な桃を届けられるよう、生産部会と一丸となって栽培に励む」と決意し、髙橋町長は「地域の宝となった桃をしっかり守り、後世に伝えるべく、農家の皆さんとともに頑張っていく」と祝意を述べました。

1_（左上から）鈴木清志産業振興課長　田中香代子副町長、芳賀武志桑折営農センター長、髙岩和史伊達農業普及所長、（左下から）渡邉弘克伊達地区営農経済部地区部長、髙橋町長、半澤理事、宍戸潤一県北農林事務所長　2_町産桃あかつき

「献上桃の郷」が誇る桃を全国へ 日本郵便㈱カタログ販売で展開

日本郵便株式会社のカタログ商品「ふるさと小包」で、町産桃の新規販売が6月2日から始まりました。この商品は、同社福島県北部地区連絡会がJAふくしま未来協力のもと、福島県や宮城県、東京都の全郵便局などで販売されます。販売開始セレモニーが同日、桑折郵便局で行われ、同会副統括局長・桑折郵便局長の神藤厚さんが「町産桃の販路拡大につなげていきたい」とあいさつし、髙橋町長が祝辞を贈りました。

▶「献上桃の郷 桑折町の桃」として約2、400局で販売

▶髙橋町長へ意気込みを話すミスピーチの皆さん

県産くだものの魅力を発信 2025ミスピーチ来庁

今年で63代目となる「2025ミスピーチキャンペーンクルー」が5月27日、役場を訪れ、町長や職員、来庁者に活動の抱負を述べました。ミスピーチは10人からなり、桃を中心に梨やリンゴなどの県産くだものの イメージアップを図るため、全国各地でPR活動を行います。役場を訪れた5人のミスピーチは「魅力ある県産くだものをより多くの人に知ってもらうために、さまざまな場面でPRに努めたい」と意気込みました。

pickup 各地区小学校運動会

大勢の声援が校庭に響いた小学校の運動会が5月17日、各校で開かれました。家族や卒業生、地域住民の皆さんが、児童らの活躍を応援する中、それぞれが一生懸命に校庭を駆ける姿がありました。

ごみ減量、次のステージへ！
みなさんの協力が鍵です

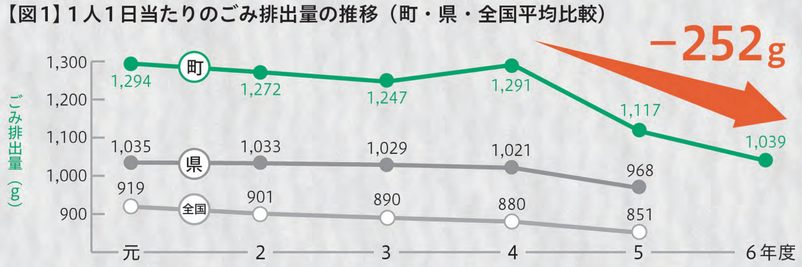
みなさんの力で減り始めている町のごみ排出量

今年3月に環境省が発表した令和5年度の「一人一日当たりのごみ排出量」（図1）において、福島県平均は968グラムで全国ワースト2位という結果でした。その中で、桑折町は1、117グラムと、県平均よりも149g、全国平均よりも266g多い状態です。一方で、町独自調査の速報値によると、令和6年度の町の「一人一日当たりのごみ排出量」は、1、039gと、令和4年度以降減少傾向にあります。

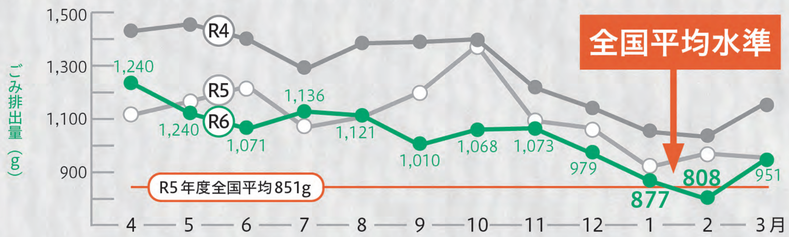
令和4年度から令和6年度の町における「各月一人一日当たりのごみ排出量の推移」（図2）をみてみると、これまで夏から秋にかけて増えていたごみの排出量が、令和6年度は突出することなく推移しています。さらに、12月以降をみると、1、000gを割り込み、2月には808gと、全国平均を下回る排出量にまで減少しました。

これまで町民のみなさんのごみ減量化への取り組みの成果が少しずつ表れています。私たち一人一人の小さな気づきや行動から、ごみ排出量は確実に減らせます。町の補助制度の活用や地域団体の取り組みなどを参考に、引き続きご協力をお願いします。

【図1】1人1日当たりのごみ排出量の推移（町・県・全国平均比較）



【図2】1人1日当たりのごみ排出量の推移（町の各月平均比較）



さらなる減量化に向けごみの組成分析を進めています

町では、令和5年度から、ごみの出し方教室の開催やごみ収集日程の変更など、町民のみなさんのご協力のもと、ごみ減量化に向けた取り組みを実施してきました。今年度は、これまで取り組んできた施策がどの程度浸透しているのかを調査するため、ごみの組成分析調査を実施します。普段みなさんが出すもやせるごみの中身を調べ、生ごみが多いのか、紙類が多いのかなどを分析し、今後のごみ減量化とリサイクル率向上のために役立てます。

広がっています！ごみ減量化に向けた取り組みの輪

資源回収団体報奨金制度

町では、空き瓶や空き缶、古新聞などを収集し、リサイクル会社に引き渡した住民団体（営利団体などは除く）に対して、1kgあたり5円の報奨金を支給しています。

▶取り組み例

ある団体の令和6年10月の資源回収結果

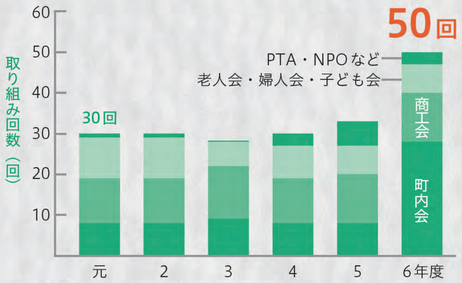
収集品目	回収量
古紙類（古新聞・段ボール・紙製菓子箱など）	670kg
ビン類（酒瓶・ビール瓶など）	14.4kg
繊維類（古着など）	10kg
非鉄金属類（アルミ缶など）	40kg
その他（鉄くず・銅線など）	0kg
総回収量	734.4kg

▼

リサイクル会社買取金額	9,108円
＋	
資源回収団体報奨金 734.4kg×5円	3,672円
＝	
団体の収入（1ヵ月分）	12,780円

この制度は、リサイクル会社から支払われる買取金だけでなく、町の報奨金も支給されます。資源回収はリサイクル推進・ごみ減量化につながるだけでなく、取り組みを行った団体に活動資金が還元されるメリットがあります。

▶町内団体の取り組み回数の推移



町内団体の取り組み回数の推移をみると、令和元年度が30回であったのに対して、令和6年度は50回と大幅に増えています。特に、資源回収に取り組む町内会が増加しており、ごみ減量化に向けた地域の輪が広がっています。

町内会で収集した資源ごみ

亀岡さん

取り組み団体の声　大畑町内会　会長　亀岡 春二さん

私たちは、長年にわたり、古新聞や段ボールなどの紙資源回収や会館に設置した回収ボックスを活用してアルミ缶回収を行っています。資源回収で得た収入は、町内清掃活動で使用するごみ袋の購入費に充てるなど役立てています。地域住民同士が交流できる機会でもあり、今後も活動を継続していきます。

活用ください！各種事業・制度

詳細は、生活環境課☎582-2123まで

▶ごみの出し方教室

町職員を派遣し、ごみ減量化に役立つ方法をアドバイスします。

▶小型家電・古着類の特別回収

イコーゼ、各地区公民館、衛生処理組合内に使用済み小型家電回収ボックスを設置。また、年に2回、使用済み小型家電と古着類の特別回収を役場で実施しています。

▶生ごみ処理容器あっせん販売(行政連絡員連合会事業)

コンポスターなどを廉価であっせん販売。

▶電動式生ごみ処理機購入費補助

購入費の1/2（上限20,000円）を補助。

統計調査にご協力を 町統計調査員協議会総会

令和7年度桑折町統計調査員協議会総会が5月29日、役場で行われました。総会に先立ち、令和6年伊達郡統計協会統計功労者表彰を受賞した佐藤文雄さん（半田地区）に、髙橋町長が賞状と記念品を伝達し、その功績を称えました。

総会では、渡邉俊行会長が「町と連携し円滑な調査体制の構築に努め、各種調査に協力する」と挨拶。その後、決算報告や今年の事業（調査）内容などを確認し、今年度の調査体制がスタートしました。今年は、10月1日を基準日とする5年に一度の国勢調査が実施されます。調査実施の際は、統計調査へのご理解とご協力をお願いします。

1_髙橋町長から賞状を受け取る佐藤さん　2_国勢調査に向けて各地区の調査員約30人が出席しました

会田前教育長が叙勲を受けて 町へ寄附金を贈呈

前教育長の会田智康さんが、令和7年度春の叙勲「瑞双（教育功労）」を受章されました。受章を受け「これまでの感謝と今後の町教育の発展に少しでも役に立てれば」と、町に対して寄附金を贈呈されました。会田さんは、県内各学校の教員や校長を歴任し、会津教育事務所長、県保健福祉部自立支援総室健康教育担当課長などを経て、醸芳小学校長に就任。その後、町教育長を9年にわたり務め、町教育行政の進展に尽力されました。

▶6月9日に行われた寄附贈呈式で目録を手渡す会田さん（右）

フレイル予防を学ぶ オレンジカフェもんも

認知症について理解を深める「オレンジカフェもんも」が4月24日、いちい桑折店MOMOテラスで行われ、30人が参加しました。当日は、町社会福祉協議会の赤坂理恵さん（理学療法士）を講師に、フレイル予防の講話と予防体操を実践。カフェタイムでは、参加者同士、日ごろの悩みや意見交換などを行いました。▼認知症の人やその家族を支援する「チームオレンジこおり」のメンバー募集中（問健康福祉課☎582－1134）

▶フレイル予防について赤坂さんの講話を聞く参加者

Astemoリヴァーレ茨城 プロに教わるバレー教室

町内に事業所があるAstemo株式会社のバレーボールチーム「Astemoリヴァーレ茨城」によるバレー教室が5月27日、町民体育館で行われました。当日は、選手3人が講師を務め、醸芳中女子バレー部の皆さんに技術指導を行いました。生徒らは、間近で見るプロ選手のプレーに目を輝かせながら、熱心に選手らの話に耳を傾けていました。サイン会や記念撮影も行われ、憧れのプロ選手との交流を楽しみました。

▶プロ選手から技術指導を受ける生徒の皆さん

▶約10kgある1億円のレプリカの重さを体感する児童

税の大切さを実感 小学校租税教室

税金の大切さについて学ぶ租税教室が6月4日、半田醸芳小学校で行われました。町税務住民課職員が講師を務め、アニメやクイズなどを通して、6年生12人に税金の重要性を説明しました。職員が「児童1人あたり年間約92万円の税金が使われています」と紹介すると、児童らは「こんなに多くの税金が使われているとは知らなかった」と驚き、「みんなが幸せに暮らすために、納税は大切だと思った」などと感想を発表しました。

みんなで確認 交通ルールとマナー 佐川急便交通安全教室

町と「地域創生に関する包括連携協定」を締結している佐川急便株式会社による交通安全教室が6月5日、こおり青空こども園で行われました。当日は、同社スタッフが信号機やトラックの模型を使用しながら、交通ルールのクイズを出題。信号の色や車のウィンカーの意味などを確認しました。横断歩道を渡る練習では、左右を確認し大きく手をあげて渡る動作を一人一人が実演。また、園駐車場に停められた佐川急便のトラック周辺を歩き、ドライバーの死角となる位置を確認するなど、命を守るためのルールやマナーを学習し、交通安全の意識向上を図りました。

1_トラックの模型のウィンカーを確認し、どちらに曲がるかを当てる園児ら　2_しっかりと手をあげ横断歩道を渡ります

鮮 追分長寿会「花植えボランティア活動」
やかな花で彩る桑折駅

追分長寿会による花植えボランティア活動が6月6日、JR桑折駅前で行われました。

当日は、14人の会員の皆さんが参加し、互いに協力し合いながら花壇への花植え作業を行いました。マリーゴールドなど約300本もの花が植えられ、駅前を鮮やかに彩ります。同会の古山正夫会長は「駅利用者をはじめ来町される人々を心地よく迎え入れたいという思いで、みんなで協力しながら毎年作業している。町を明るくし、道行く人に笑顔を届けられたら」と話しました。

▲町の玄関口を華やかにという思いを込めて一つ一つ丁寧に花を植える皆さん

倒 町消防団救助資機材搭載型消防車訓練
壊建物や車両閉じ込めからの救助を想定

町消防団本団主催の救助資機材搭載型消防車訓練が5月25日、伊達地方消防組合中央消防署西分署で行われ、消防団員約40人が参加しました。当日は、中央消防署救助隊員が講師を務め、消防庁から貸与されている救助資機材搭載型消防車に搭載された資機材を使用した訓練を実施。倒壊した建物や車両に閉じ込められた住民を救出する想定で、エンジンカッターやチェーンソーによる切断作業をはじめ、油圧式切断機による車両のこじ開け作業に取り組みました。有事の際の迅速な救助活動のために、さらなる技術向上に努めました。

▲救助隊員からコンビツールや油圧式切断機の使い方を学ぶ団員の皆さん

全 激励金贈呈式
国大会での活躍に期待

軟式野球の全国大会出場が決まった須藤翔さんと上杉周平さんへの激励金贈呈式が6月3日、役場で行われました。

当日は、佐藤浩哉教育長が「持てる力を存分に出し切り、試合での健闘を祈るとともに、今後もますますの活躍を期待します」とあいさつし、代表の須藤さんに激励金を手渡しました。須藤さんは「日々の練習の成果を出し切り、勝利を目指してがんばります」と意気込みを話しました。2人は、6月に県内で開かれた第47回東日本軟式野球大会（1部）に出場しました。

▲佐藤教育長から激励金を受け取り勝利を目指して気持ちを高める須藤さん（右）

広　告

災害から命を守る

福島県防災アプリ

防災情報の通知や避難行動計画の作成機能をはじめ、
いざという時に迅速で適切な避難行動がとれるよう、
さまざまな機能を備えた「福島県防災アプリ」。
必要な情報や機能が一つのアプリに集約されているため、
より迅速で適切な避難行動に役立ちます。
アプリをダウンロードして、いつ起こるかわからない災害に備えましょう。

ダウンロードは こちら▶

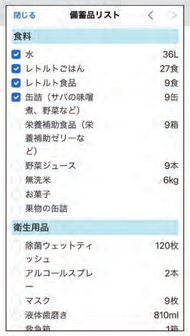
安否確認

事前にグループを作成しておくと、災害時に家族・友人と安否情報の共有ができます。

避難所検索

今いる場所から最寄りの避難所などを検索してマップに表示し、ルート案内を行います。

備蓄品リスト



家族構成に合わせて推奨される備蓄品リストを自動作成・編集・確認できます。

事業者向け安否確認

災害発生時に、従業員に対し安否確認通知が自動で配信され、負傷の有無や出社の可否などを確認することができます。

防災マップ

ハザードマップや雨雲、河川水位、道路規制情報のほか、河川カメラや道路カメラなどを確認できます。

防災情報通知

気象情報や避難情報、避難所情報などの防災情報がタイムリーに通知されます。現在地に加え、最大3つの地域が登録できます。

水害に備えて

台風や大雨が増えるこの季節。自宅や職場周辺の水害リスクを把握していますか。「福島県防災アプリ」の防災マップや町ホームページ掲載のハザードマップ(右記二次元コード)から、水害の危険性が高い場所を事前に確認しましょう。

確認エリア
- 土砂災害(特別)警戒区域
- 浸水想定区域
- 家屋倒壊等氾濫想定区域

▼ こちらもチェック ▼

新たな土砂災害発生想定箇所

県では、土砂災害警戒区域などが指定されていない箇所での土砂災害発生頻度が高まっていることから、「新たな土砂災害の発生のおそれのある箇所」を公表しています。ハザードマップと併せてご確認ください。

その暑さ　命の危機かも

油断禁物！　室内でもおこる熱中症

暑さが本格化するこれからの季節は、命にかかわる「熱中症」に注意が必要です。特に高齢者や持病のある人は重症化しやすく、早めの予防行動が大切です。熱中症は屋外だけでなく室内でも起こります。正しい予防法と対策を身につけ、大切な命を守りましょう。

◆熱中症とは

体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温の調節機能が働かなくなり、体温の上昇やめまい、けいれん、頭痛などのさまざまな症状を起こす病気です。

○熱中症になりやすい人

・県内では、65歳以上の高齢者が約半分を占めています。

○熱中症になりやすい場所

・県内では、居住（庭含む）が4割を占めています。

○熱中症になりやすい時期

・県内の熱中症の死亡または重症者数は、梅雨明け1～2週間が増える傾向にあります。

◆熱中症の程度と対応

【Ⅰ度（軽症）】

症　状：めまい、立ちくらみ、筋肉痛、筋肉の硬直

対処法：涼しい場所に横になり、衣服をゆるめ、体を冷やし、水分補給をする。

【Ⅱ度（中等症）】

症　状：頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、失神、判断力や集中力の低下

対処法：涼しい場所に移動し、体を冷やし、水分補給をする。水分などを補給しても症状が良くならない場合や自分で水分を取れない場合は速やかに病院へ行く。

【Ⅲ度（重症）】

症　状：意識がない、けいれん、高い体温である、呼びかけに対し返事がおかしい、まっすぐに歩けないなど

対処法：症状が一つでもみられた場合、すぐに救急車で病院に搬送する。

広　告

◆熱中症予防行動のポイント

①【こまめな水分補給】

・のどが渇く前に水分補給を。食事以外に一日あたり1・2リットルの水分が目安。1時間ごとにコップ1杯、起床時と入浴前後にも水分補給をする。

・運動、作業を行ったとき、多くの汗をかいたときは塩分も補給。

②【体調管理】

・日ごろからバランスのとれた食事や睡眠をしっかりとり、体調を整えることが重要。

・日ごろから汗をかく運動をする。

・朝ご飯をしっかり食べる。

③【気温と湿度を知る】

・天気予報や暑さ指数計（WBGT）を活用して、予防行動をとる。

④【見守り・声かけ】

・高齢者、子ども、障がい者などに対しては、周囲の人が声かけをする。

⑤【暑さを避ける】

・暑い日や時間帯は涼しい服装を心がけ、日傘や帽子を活用する。

・エアコンを使用し、室温と湿度の調整を行う。28℃を超えると熱中症の危険性が高まるため、換気を行う際もエアコンはつけたままにしておく。

・ふくしま涼み処（一時的に暑さをしのぐために使用できる休憩スペース）を活用。役場庁舎やスーパーなど、町内各地の施設が涼み処として登録されていますので、気軽にご利用ください（運用期間6月1日～9月30日・気象状況で延長あり）。

福島県 熱中症予防 検索

■ふくしま涼み処登録施設（町内）※６月１日現在

施設名	休憩場所	利用可能時間	休館日
役場	町民ロビー	8:30 ～ 17:15	土･日･祝日
イコーゼ！	1階ロビー	9:00 ～ 21:30（日曜日9:00～18:00）	なし
いちい桑折店	店内・休憩所	9:00 ～ 21:00	なし
ウエルシア伊達桑折店	調剤待合室	月～金曜日 9:30 ～ 14:00/15:00 ～ 18:30 土曜日 9:30 ～ 14:30	日･祝日
コープふくしま桑折店	店内休憩スペース	9:30 ～ 21:00（日曜日9:00～21:00）	なし
福島信用金庫桑折支店	1階ロビー	9:00 ～ 15:00	土･日･祝日
桑折郵便局	窓口ロビー	9:00 ～ 16:00	土･日･祝日
伊達崎郵便局	窓口ロビー	9:00 ～ 16:00	土･日･祝日
半田郵便局	窓口ロビー	9:00 ～ 16:00	土･日･祝日

問県生活環境部　環境共生課　☎ 521-8516・町生活環境課　環境係　☎ 582-2123

広　告

NEWS

こどもの睡眠

子育てアドバイス

こどもの睡眠

こどもの心と体の成長に欠かせない睡眠。睡眠には**心身の休養**と**心身を成長させる**という役割があります。睡眠時間が不足すると、肥満リスクが高まるほか、抑うつ傾向の強まり、学業成績の低下、幸福感や生活の質（QOL）の低下などにつながると報告されています。こどもの心身の健康を保つために重要な「適切な睡眠時間の確保」について、ポイントをみていきましょう。

こどもの睡眠時間の目安

1～2歳	11～14時間
3～5歳	10～13時間

小学生	9～12時間
中学・高校生	8～10時間

（厚生労働省「健康づくりのための睡眠ガイド2023」より）

こどもの毎日をすこやかに過ごすための睡眠5原則

1．適度な長さで休養感のある睡眠と年齢にあった十分な睡眠時間の確保

夜ふかしに注意！

夜ふかしは、睡眠不足を招く一大要因です。日中の遊びや運動に集中できない、居眠り、すぐイライラするなどの症状も睡眠不足が原因かも・・・。

・こどもの睡眠習慣は、親の睡眠習慣に影響されやすい　➡家族ぐるみで早寝・早起き習慣を目指す。
・睡眠時間の目安から逆算して、夜寝る時間を決める。

2．光・温度・音に配慮した、良い睡眠のための環境づくりを

寝る前や寝床の中でのテレビ・ゲーム・スマホ使用を控える

寝る前や寝床の中でのデジタル機器の使用は、夜ふかしや朝寝坊、睡眠不足を助長

・夜の居室は暗めにし、寝室は暗くして眠る。
・眠る前は、絵本の読み聞かせや子守歌などがおすすめ。

3．適度な運動、しっかり朝食、寝る前のリラックスで眠りと目覚めのメリハリを

起床後から日中にかけて太陽の光を浴びて運動しよう

・起床時間を決め、カーテンを開けて部屋を明るくする。
・日中はしっかり運動し、ストレスを発散する。
・朝食は欠かさず、3度の食事を規則正しくとる。

4．嗜好品とのつきあい方に気をつけ、カフェインのとりすぎに要注意

朝食はしっかりとり、カフェイン摂取は控える

・カフェイン飲料（紅茶・緑茶など）の摂取量をできる限り減らす。

5．眠れない、眠りに不安を覚えたら専門家に相談を

睡眠習慣を改善しても眠りの問題が続く場合、医療機関や保健所、療育センターに相談を。

睡眠は最も重要な休養行動です。良い睡眠には、量（時間）と質（休養感）が重要で、長すぎても短すぎても健康を害する原因となります。朝目覚めた時に感じる休まった感覚（睡眠休養感）は、良い睡眠の目安となります。

例えば、日中にしっかり身体を動かし、夜は暗く静かな環境で休むといったメリハリをつけることで、睡眠休養感が高まります。睡眠時間を確保し、睡眠休養感を高める工夫を、日常生活に取り入れましょう。

広　告

管理栄養士のおすすめレシピ

マリネサラダ

ここがポイント！

キャベツや玉ねぎは茹でることで甘みが出て、かさも減り食べやすくなります。
レモン汁の替わりに、同量の酢で代用してもOKです。

食塩 0.7g

■材料（4人分）

・キャベツ ……1/4個
・玉ねぎ ……1/2個
・トマト ……　1個
・ハム ……　4枚
・ホールコーン缶 …大さじ2
・しょうゆ ……小さじ2
・砂糖 ……小さじ1
・オリーブオイル …小さじ1
・レモン汁 ……小さじ1/2

■作り方

1. 野菜は水でよく洗い、キャベツ、玉ねぎ、ハムは3センチ長さの細切り、トマトは1.5㎝角のさいの目切りにする。調味料は混ぜあわせておく。
2. 鍋にお湯を沸かし、キャベツと玉ねぎを茹でる。しんなりしたらザルにあげ、水にさらして水気を絞り、ボウルに入れる。
3. ボウルにトマト、ハム、コーンを加え、調味料を入れてよく和える。

【1人分の栄養価】　エネルギー 77kcal/たんぱく質3.7g/脂質3.2g/カルシウム30mg/鉄0.5g/塩分0.7g

身近に迫っている慢性腎臓病

2024年の推計では、日本の腎機能の低下している人（慢性腎臓病）は2000万人（成人の5人に1人）と多く、人ごとではありません。慢性腎臓病の主な原因は高血圧や糖尿病ですが、普段から飲んでいる薬（代表的なものは痛み止めなど）が関係する事もあります。

（医）かしの木内科クリニック　石井（いしい）　一（はじめ）

広　告

INVITING COMMUNITY ZONE FOR EVERYONE

生涯学習だより

バードコール作りに挑戦
霊山こどもの村で体験学習

こおりキッズスクール「バスでおでかけ～霊山こどもの村へ行こう～」が５月25日に行われ、町内の小学生16人が参加しました。施設の中では、木に囲まれた空間で、木工工作体験に挑戦。木を使って鳥の鳴き声を再現する「バードコール」を製作しました。木に穴を開けてボルトをねじ込むだけで簡単に作れるバードコールは、ボルトを回すと金属と木が擦れ合って鳥のさえずりに似た「キュッキュッ」という音が鳴ります。子どもたちは、鮮やかな色彩で思い思いの絵を描き、世界に一つだけのバードコールを完成させました。その後、施設内のミュージアムで自然科学について学び、屋外では、巨大しゃぼん玉遊びも行いました。当日は、あいにくの雨模様でしたが、どんよりとした雲を吹き飛ばすほどの晴れやかな笑顔が見られた１日でした。

目線　くぎ付け！
小学校での読み聞かせ

読み聞かせボランティア団体「コスモス」による読み聞かせが５月23日、醸芳小学校で行われ、１・２年生91人が絵本の読み聞かせを楽しみました。しりとりを題材にした大型絵本では、読み手が指差した絵を、声を揃えて全員で読み上げ、言葉の面白さに笑い合いました。登場人物に気持ちを寄せて、「かわいい」「それは違うよ！」「頑張って！」などの、児童ならではの豊かな反応も飛び交いました。物語を通じて優しい心を育む、あたたかな時間となりました。

スマホ犯罪未然防止
スマホにひそむこわい罠

成人講座「スマホにひそむ　こわい罠」が５月22日、イコーゼで行われ、26人が参加しました。講師の県警本部サイバー犯罪対策課の佐藤学さんが、犯罪に巻き込まれないようスマホを安全安心に利用する方法について事例を交えながら説明。参加者からは「動画を見ながらの説明でよく分かった」「スマホの安全な利用の仕方を再確認でき、詐欺防止についても参考になった」と感想が寄せられました。皆さんも、スマホ犯罪の未然防止に努めましょう。

よく食べよく動く
元気な人生100年時代

成人講座「体は食べ物から出来ている」が５月29日、イコーゼ行われ、42人が参加しました。

株式会社明治の管理栄養士・百足奈々さんが講師を務め、「栄養・運動・口腔ケア」をテーマに、実例と自身の体験を交えながら、健康寿命を延ばすためのヒントを紹介しました。参加者からは「運動はテレビの合間にも取り入れやすそう」「改めて食事と運動の大切さを学んだ」と声が寄せられ、人生100年時代を元気に過ごすための秘訣を学びました。

図書だより

問遊学館よも～よ　☎582-5388

「第71回青少年読書感想文全国コンクール」の課題図書を紹介します。遊学館よも～よで全て貸出できます（夏休み中はひとり１冊まで）。

	出版社名	書　名
小学校低学年	中央公論新社	ライオンのくにのネズミ
	PHP 研究所	ぼくのねこポー
	ひさかたチャイルド	ともだち
	アリス館	ワレワレはアマガエル
小学校中学年	あかね書房	ふみきりペンギン
	文研出版	バラクラバ・ボーイ
	童心社	たった2℃で・・・：地球の気温上昇がもたらす環境災害
	河出書房新社	ねえねえ、なに見てる？
小学校高学年	講談社	ぼくの色、見つけた！
	徳間書店	森に帰らなかったカラス
	ほるぷ出版	マナティーがいた夏
	岩崎書店	とびたて！みんなのドラゴン：難病 ALS の先生と日明小合唱部の冒険
中　学　校	小峰書店	わたしは食べるのが下手
	あすなろ書房	スラムに水は流れない
	くもん出版	鳥居きみ子：家族とフィールドワークを進めた人類学者
高 等 学 校	実業之日本社	銀河の図書室
	作品社	夜の日記
	紀伊国屋書店	「コーダ」のぼくが見る世界：聴こえない親のもとに生まれて

Information

歴史だより

桑折西山城 140 人が環境美化
恒例の草刈りボランティア

国指定史跡「桑折西山城跡」の草刈ボランティア活動が６月７日に行われ、町民・町内事業所・役場職員ら140人が参加しました。

参加者は、本丸や中館・西館に分かれ、草刈機を使って作業。登城口と大カヤ周辺の環境整備も行いました。

今年は、10月26日に「（仮称）伊達の城シンポジウム」を開催する予定です。多くの方が訪れることができるよう、環境整備に努めていきますので、今後もご理解とご協力をお願いします。

マルベリーこおり

問事務局　☎582-3129

尾瀬縦走ハイキング
※桑折町中央公民館共催

尾瀬縦走ハイキングが６月１日・２日に行われ、参加者15人が、福島県側から群馬県側へ縦走する尾瀬縦走ハイキングを楽しみました。

初日は霧雨で、２日目は晴天の下、尾瀬をハイキング。残雪の上を歩いたり、人気の尾瀬小屋に宿泊し、山小屋グルメを堪能。最盛期を迎えた可愛らしい水芭蕉の群生を見ながら、皆さん思い思いに写真を撮り、尾瀬の自然を満喫しました。

Dreams come true.

わたしの夢

渋谷 安治（あんじ）さん　醸芳中3年生

ゲームの魅力を世界中に届けたい 宣伝販売担うゲームパブリッシャー

私の夢は、ゲームの宣伝や販売などを行う会社（ゲームパブリッシャー）で働くことです。私は、小さいころから、アニメやマンガ、ゲームなどが大好きでした。中学1年生のとき、気持ちが落ち込む時期がありましたが、とあるゲームが自分を支えてくれました。その時に、ゲームは悩んでいる人や辛い思いをしている人を笑顔にするツールだと実感し、次は自分がゲームの魅力を発信し、多くの人を笑顔にしたいと思うようになりました。パブリッシャーでの仕事は、商品の魅力を伝える動画配信やイベントの企画・運営、司会など多岐にわたります。私は人前で話すことが好きですが、もっと語彙力を高めるべく読書に励んでいます。国や言語をも超えるゲームの魅力を世界中の人に届けられるように、受験勉強に集中しつつ、これからもゲーム愛を大切に過ごしていきたいです。

まちのお知らせ
Town information.

マイナンバーカード申請サポート

出張申請受付を行っています

問税務住民課　住民国保係
☎582-2114

役場職員が職場や町内会館、ご自宅などを訪問し、マイナンバーカードの申請をサポート！
完成したカードはご自宅へ郵送します。

■**対象**　企業や団体、家族、友人同士など（人数制限なし）
■**日時**　原則、平日9:00～12:00 / 13:00～16:30の間
■**お願い**　会場手配や申請者取りまとめ、申請書配布などの準備は、申込団体でお願いします。

広　告

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS | SDGsインフォメーション

問総合政策課
☎582-2115

福島県パートナーシップ制度との連携について

■男女共同参画プラン推進懇談会

町男女共同参画プラン推進懇談会が６月６日、役場で行われ、町内の各業界・分野から選出された委員と有識者（アドバイザー）が、町の男女共同参画の取り組みを評価・協議しました。今回の会議では、県のパートナーシップ制度と連携することについて重点的に協議されました。

■県パートナーシップ制度で利用できる町の行政サービス

県は、県民１人１人が個人として尊重され、誰もが安心して暮らすことのできる社会の実現に向け、「福島県パートナーシップ制度」を令和６年９月から開始しました。

この制度は、県が「福島県パートナーシップ届出書受理証明書」を交付することで、同性カップルや婚姻の届出をしていないカップルが、人生のパートナーと協力しながら安心して暮らすことができる環境づくりを進めるものです。

町は、県パートナーシップ制度と連携し、県の受理証明書を提示することで、町の各種行政サービスが利用できるサービスを今年７月から開始しています（令和７年７月現在19サービス）。詳しくは、県・町ホームページをご確認ください。

町のごみ排出量
※1人1日あたりの排出量
令和7年5月 **1,060g** 前月比+27g
（令和6年5月 1,128g 前年比−68g）
分別に困ったら…
伊達地方衛生処理組合のホームページで検索

広　告

令和7年度　自衛官募集

募集人員・試験内容など、詳細は問い合わせください。

募集種目	資　格	受付期間	試験期日
航空学生	高卒（見込含） 海:23歳未満 空:24歳未満	7月1日～8月29日	1次　9月20日・27日 2次　10月16日～23日 3次　（海）11月21日～12月17日 （空）11月15日～12月18日
一般曹候補生	18歳以上 33歳未満	7月1日～9月2日	1次　9月13日～21日 2次　10月11日～26日
自衛官候補生		年間を通じて実施	受付時または各自衛隊地方協力本部のホームページにてお知らせします。

自衛隊福島地方協力本部　福島募集案内所　☎545-7995

広報 桑折 7 JUL.2025 vol.667
Koori Town Public Relations Magazine

7 July 2025 くらしのカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
●成人講座 ●子ども向け講座 ㊐休日当番医 ◆母子手帳交付・すくすくの日 （☎582-6045）へ事前にご連絡ください。			2 ・広報7月号発行 ・お知らせ版発行	3	4◆	5 ・楽しく学ぼう SDGs！マリカ先生のSDGs講演会（イコーゼ） ・桑折学習塾（中学校）
6 ㊐すずき医院 ☎575-2563	7 「献上桃の郷」桑折町デジタルスタンプラリー（～8/31）	8	9 町青少年育成町民会議大会・記念講演（イコーゼ）	10 ・健康チェック＆相談日 ・1歳6ヵ月健診（R5年11･12月生） ・最強の睡眠習慣を創ろう	11◆ 認知症サポーター養成講座（半田公民館）	12
13 ㊐まつもとクリニック ☎582-4800	14	15 すくすくカフェ	16 ・お知らせ版発行 ・クマ防災教室	17	18◆ ・1学期終業式 ・小学校水泳大会	19 ・ふるさと歴史講座 第1回桑折西山城跡現地見学 ・桑折学習塾（中学校）
20 ㊐ミツバチいたみと眠りのクリニック ☎572-5328	21 海の日 ㊐村上医院 ☎585-2152	22	23	24 男性のための健康料理教室	25◆	26
27 ㊐大木内科医院 ☎575-3343	28 キャッシュレス決済体験会	29	30	31 オープンキッズスクール「チョコレートのひみつ」	1◆	2

【編集後記】

▶今年も産ヶ沢川では、6月中旬ごろからホタルが光はじめました。昔は、家の裏山や田んぼ脇の水路などでも見かけることができましたが、今では貴重な存在となりました。保存会の方々が日ごろから環境整備に努められ、この生命の神秘を守り続けています。何度見てもホタルの乱舞には感動するばかりです。光る生物といえば、クラゲやホタルイカ、ウミホタルなどありますが、小さいころは猫も自ら目を光らせているものだと思っていました（大越）

◆人口（前月比）6月1日付

人口 ※住民基本台帳／外国人含む	計	10,882人	(−3)
	男	5,303人	(−5)
	女	5,579人	(+2)
世帯数		4,687世帯	(+7)
転入	26人	出生	0人
転出	19人	死亡	10人

◆今月の納税

- 固定資産税（2期）
- 国民健康保険税（普通徴収1期）
- 介護保険料（普通徴収1期）

期限 7月31日㊍

◆住民票・戸籍・印鑑・税証明交付／印鑑登録／マイナンバーカード交付など窓口延長（毎週木曜日、午後7時まで。祝日除く。）

※当日午後5時までに税務住民課（☎582-2114）へ要予約。

発行／桑折町　〒969-1692 福島県伊達郡桑折町大字谷地字道下22番地7
tel.024-582-2111（代）／fax.024-582-2479